

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	とものつくる住みよい地域社会の実現
施策	17	基地対策
基本方針		
横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行います。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
横田基地に起因する諸問題についての国および米軍への要請	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定の実施	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
特定防衛施設周辺対策事業の充実についての要請	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策17「基地対策」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策17「基地対策」については、取組内容は順調に推移している。</p> <p>今後の方向性については、実施計画に掲げた取組みを継続的に推進していくこととし、すべて「現状のまま継続」していくこととする。</p>
--

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	横田基地に起因する諸問題についての国および米軍への要請	不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17 基地対策	重点事業No.	1	

2.事業の概要

施策の基本方針	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行います。
事業内容	航空機騒音や事故など、横田基地に起因する諸問題について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会や横田基地周辺市町基地対策連絡会等を通じ、国および米軍に要請します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会などを通じた安全対策・騒音防止等を含めた横田基地の整理・縮小・返還要請の実施 5市1町幹事:瑞穂町	同左 5市1町幹事:羽村市	同左 5市1町幹事:福生市	同左 5市1町幹事:昭島市

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	576H	2人	960H	2人	576H	2人	576H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	61	62	62	62
人件費(係長職)	5,732	9,552	5,732	5,732
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	5,793	9,614	5,794	5,794
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	5,793	9,614	5,794	5,794
財源内訳(合計)	5,793	9,614	5,794	5,794

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円

イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円

ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

平成29年度は、横田基地周辺の5市1町で構成する横田基地周辺市町基地対策連絡会の幹事として、他の自治体の意見を取りまとめ、国や米軍に対する要請等に取り組んだ。
 平成29年度上半期においては、横田基地での訓練、航空機の部品紛失、米軍属による不祥事、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練、MV-22オスプレイの飛来などに対し、即時要請を行うなど、5市1町の意向を取りまとめ、東京都と連携しながら適時適切な対応に努めた。
 平成29年度下半期は、国と米軍に対する総合要請を実施したほか、横田基地所属C-130輸送機の部品紛失、物料投下訓練中の誤投下への要請対応、正月三が日飛行自粛要請、横田基地で実施される訓練等への要請など、東京都並びに近隣自治体と連携した対応に努めた。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	62		62	52	83.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	960H	2人	960H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○適時適切な要請等の実施	⇒ ○適時適切な要請等の実施 44件

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (国の責任において実施されるべきものであり、粘り強く働きかけていく必要がある)	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

横田基地に起因する諸問題の解決に向けては、東京都並びに周辺自治体と連携した対応を行い、市民に対する適時適切な情報提供に努めることが重要であり、そうした観点から、意義のある取り組みであると捉えている。ただし、こうした対応は本来国が責任を持って対応すべきものであると捉えている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

市民に対する説明や情報提供など、国の責任において実施されるよう、周辺自治体と連携しながら、引き続き働きかけていく。

【今後の取組方針】

横田基地に起因する諸問題が発生しないことが第一であり、日ごろから国や米軍からの情報収集に努めるとともに、横田基地に起因する諸問題が発生することのないよう、安全対策の徹底と騒音の軽減に関する働きかけに努めていく。

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	航空機騒音、航空機飛行高度などに関する測定の実施	不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課	環境保全課					
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17	基地対策	重点事業No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行います。
事業内容	横田基地に関係する航空機の騒音を測定するとともに、飛行高度の測定を行うよう国に要請します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	航空機の騒音測定 2か所 機器更新の検討 航空機の飛行高度測定を実施するよう国に要請	同左 2か所 機器の更新(スィミングセンター) 同左	同左 2か所 同左	同左 2か所 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	144H	3人	344H	2人	48H	2人	48H
主事・主任職	1人	480H	1人	480H	1人	480H	1人	480H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	61	1,382	2,700	2,700
人件費(係長職)	2,150	5,135	478	478
人件費(主任・主事職)	1,632	1,632	1,632	1,632
総事業費(合計)	3,843	8,149	4,810	4,810
国庫支出金				
都支出金		852	852	852
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	3,843	7,297	3,958	3,958
財源内訳(合計)	3,843	8,149	4,810	4,810

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	145	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
※ 対象者:				円

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

航空機騒音の発生状況を捕捉するため、羽村市役所及びスイミングセンターにおいて常時騒音測定を実施した。
 また、スイミングセンターの騒音測定器の更新作業に取り組み、平成29年9月末に導入を完了した。
 飛行高度の測定については、事案が発生するたびに、国に対する申入れを行っているほか、平成29年11月及び12月には、国と米軍に対する総合要請を実施し、その中で国の責任において、米軍機の飛行高度に関する日米合同委員会合意事項が遵守されているかどうか確認するよう、強く申入れを行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,382	▲116	1,266	1,244	98.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	344 H	3人	344 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	480 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○航空機の騒音測定(2か所) ○機器(スイミングセンター)の更新 ○飛行高度等の国に対する要請	○航空機の騒音測定(2か所) ○機器(スイミングセンター)の更新 ○飛行高度等の国に対する要請

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (国の責任において実施されるべきものであり、粘り強く働きかけていく必要がある)	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、測定の実施や機器の更新は、市域における実態を捕捉することなどに有効であったと捉えている。ただし、騒音や飛行高度の測定は、本来国が責任を持って、対応すべきものであるとも捉えている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

騒音の軽減や飛行高度の捕捉については、日米合同委員会合意の遵守が徹底されるべきであり、その実施状況は、国の責任において捕捉されるよう、引き続き、国に対する申入れを行っていく。

【今後の取組方針】

横田基地に起因する諸問題が発生しないことが第一であり、日ごろから国や米軍からの情報収集に努めるとともに、横田基地に起因する諸問題が発生することのないよう、安全対策の徹底と騒音の軽減に関する働きかけに努めていく。

平成29年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署		企画総務部			企画政策課	
事業名		開始年度		実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00	特定防衛施設周辺対策事業の充実についての要請	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営		
01			年					
02			年					
関連課								
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	17	基地対策	重点事業No.	3	

2.事業の概要

施策の基本方針	横田基地に起因する航空機騒音などの問題の解決に向けて、基地周辺自治体と連携し、国および米軍等へ要請するとともに、市民への情報提供を行います。
事業内容	公共施設の整備などに関する交付金制度の拡充について、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会や横田基地周辺市町基地対策連絡会などを通じた国への要請や、防衛補助の採択に向けた交渉に取り組みます。
根拠法令	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律 ほか
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	国へ防衛補助等の充実を要請 平成27年度採択案件 ・スミングセンター改修事業(27年度・28年度) 平成28年度補助採択案件 ・動物公園改修事業(28年度～30年度) 平成29年度採択予定案件 ・消防車両更新事業 ・羽村第一中学校防音機能復旧事業	同左 平成28年度補助採択案件 ・動物公園改修事業(28年度～30年度)	同左 平成28年度補助採択案件 ・動物公園改修事業(28年度～30年度)	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	110 H	1人	110 H	1人	110 H	1人	110 H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	192	228	193	193
人件費(係長職)	548	548	548	548
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	740	776	741	741
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	740	776	741	741
財源内訳(合計)	740	776	741	741

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

平成29年度事業である「消防自動車更新事業」及び「羽村第一中学校防音機能復旧工事」については、所管部署において予定どおり完了した。また、平成30年度予定事業である「防災無線(固定局)更新事業」について、実施計画を申請し採択されたところである。
また、更なる交付金事業の拡大を求め、東京都及び周辺市町と連携し、国に対して要請を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	228		228	75	32.9%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	110H	1人	110H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
国への要請実施 【継続事業案件】 ○動物公園改修事業(28年度～30年度) 【29年度採択予定案件】 ○消防車両更新事業 ○羽村第一中学校防音機能復旧事業(設計)	⇒ 国への要請実施 【継続事業案件】 ○動物公園改修事業(28年度～30年度) 【29年度採択案件】 ○消防車両更新事業 ○羽村第一中学校防音機能復旧事業(設計)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他(東京都及び基地周辺市町と連携しながら、取り組んでいる)	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

航空機騒音対策として、学校などの防音障害を緩和するための施設整備や老朽化している施設の整備に関して各種補助金を活用し施設の整備を行ってきたところである。また、有事の際に必要な消防車両、防災行政無線の更新や住民福祉の向上・健康促進のためのソフト事業についても交付金を活用しており、安心・安全のまちづくりに寄与していると捉えている。

Action【改善】

8. 今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

公共施設の老朽化の整備・更新事業、土地開発公社所有地や公共事業で必要となる用地の購入対応など、対象となる事業の補助メニューを最大限活用し、財源の確保を図っていくとともに、交付金事業拡充への取組みとして、東京都及び基地周辺市町とともに、引き続き連携しながら国に対して要請等を実施していく。